



高山智博（たかやま・ともひろ）

1937年東京生まれ。上智大学名誉教授。日墨交流会会長。上智大学外国語学部イスパニア語学科卒業。イペロアメリカ大学人類学研究科修士課程修了(メキシコ)。メキシコ観光省「銀ペン賞」受賞(1994年)。著書、『アステカ文明の謎—いけにえの祭り』(講談社現代新書)、『メキシコの旅』(実業之日本社ブルーガイド海外版)、『マヤとインカの美術』(講談社)、『メキシコにかける夢—荻田政之助と日系社会の世界』(平凡社)、『メキシコ多文化 思索の旅』(山川出版社)など。共訳書、オクタビオ・パス『孤独の迷宮—メキシコの文化と歴史』(法政大学出版局)、オスカー・ルイス『貧困の文化—メキシコの<五つの家族>』(ちくま学芸文庫)。

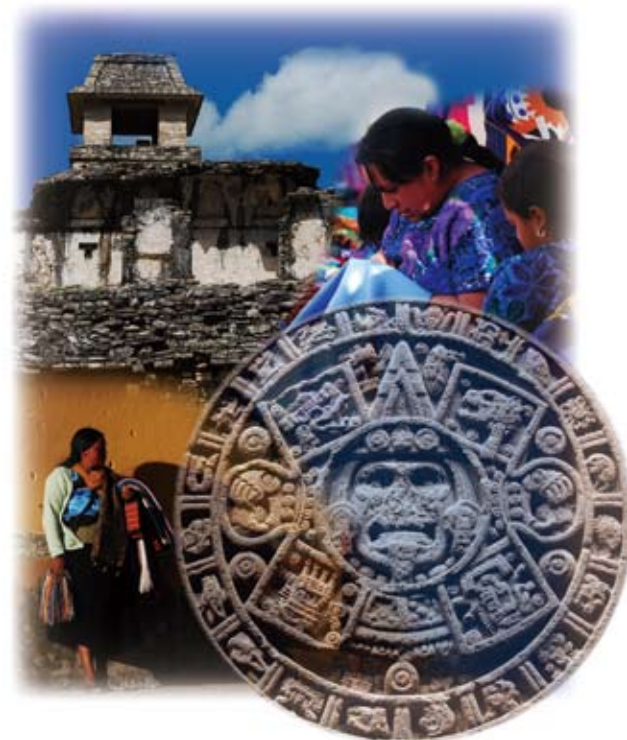
古代文明の遺産

Environmental Legacies from Ancient Civilizations

調和と均衡—メキシコからボリビアにかけて—

Harmony and Balance from Mexico to Bolivia

高山智博



古代文明の遺産
Environmental Legacies from Ancient Civilizations

高山智博

ISBN978-4-87950-586-6 C0025 ¥1429E

定価：1500円(本体1429円)⑤



メソアメリカからアンデス
先住民の過去と現在、
宇宙観や自然観を探求する旅へ

ASAHI
ECO
BOOKS
22

発行
アサヒビジュアル
編集発売
清水弘文堂書房

- 旅のはじまり トランス・パシフィック物語
- メソアメリカ領域
オルメカ文明・マヤ遺跡訪問・グアテマラの過去と現在
- 中間領域
コスタリカの謎の石球を探る・コロンビア・パナマの先住民文化
- アンデス領域
エクアドルの太陽文明・アンデス一人旅